
令和4年度北栄町高校生議会会議録

令和5年1月17日（火曜日）

議事日程

令和5年1月17日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

出席議員（13名）

1番 村上航大君	2番 吉川海優君	5番 林原優妃君
5番 木井あいら君	6番 富山琴羽君	6番 澁谷花妃君
7番 中原しおり君	7番 多月萌々菜君	8番 福羅和君
9番 小野颯己君	9番 松原優吾君	10番 松村大雅君
11番 鍛冶木涼花君		

欠席議員（7名）

1番 福井海心君	2番 淀瀬權君
3番 長田迅君	4番 池田有紀君
4番 小谷天音君	12番 瀬尾倅登君
12番 駒井柊哉君	

議長（1名）

議長 松村康平君

北栄町議会事務局出席職員職氏名

事務局長	大庭由美子君	主幹	福嶋奈美君
事務補佐員	長谷川利恵君		

説明のため出席した者の職氏名

町長	手嶋俊樹君	副町長	岡本圭司君
教育長職務代理者	徳岡幸裕君	総務課長	磯江昭徳君
産業振興課長	清水直樹君	観光交流課長	松本裕実君
環境エネルギー課長	杉本裕史君	教育総務課長	中原浩二君

午前 9 時 20 分 高校生議会開会式

○事務局長（大庭 由美子君） それでは時間になりましたので、高校生議会の開会式を行います。

初めに、北栄町議会議長 津川俊仁が御挨拶いたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（津川 俊仁君） 皆さん、おはようございます。高校生議会の開催に当たって一言御挨拶申し上げます。コロナの感染拡大が続いておりますが、本日、ここに令和 4 年度高校生議会が開催できますことを大変うれしく思っております。振り返れば、平成 27 年以来今回で第 9 回目となりますが、毎年すばらしい質問が出され、北栄町議会でも大いにいい刺激を受けてまいりました。皆さんも御存じだと思いますが、北栄町図書館のオープンギャラリーが整備されたのも先輩議員の提案によるものであります。先輩議員に負けないう質問戦を期待しております。

若干欠席者がありますが、本日は 12 班の高校生議員が 13 問の質問の予定です。個人的に一番期待している項目があります。農業アルバイトアプリの開発と運用に関する質問です。北栄町の名産品はスイカ、梨、ねばりっこ、米、牛肉、柿、ブドウ、何でもあります。ふるさと納税でたくさんの全国のファンからも応援をいただいております。しかし、農業現場では高齢化が進み、労働力不足もありせっかく作れば売れる産品があるにもかかわらず作れない、出荷できないという状況も発生しています。そこを回避できればまだまだ新しい特産品もできますし、あわせて、高校生の生活支援やキャリア教育の推進、町の活性化にもつながると思います。執行部の皆さんの積極的なすばらしい回答を大いに期待しているものであります。そして、皆さんの発言で北栄町が変わることが実感できる、そんな高校生議会になればいいなというふうにも期待しております。

以上、高校生議会の議員の皆さんに少しのプレッシャーをおかけしました。そして大きなエールも送ったつもりです。高校生議会の開催に御尽力いただきました鳥取中央育英高等学校の檜校長先生をはじめ先生方や関係者の皆様へ感謝申し上げますとともに、本日の議会が成功裏に終わりますよう御祈念申し上げたいと思います。本日 1 日、よろしく願います。

○事務局長（大庭 由美子君） 続きまして、北栄町長 手嶋俊樹が御挨拶いたします。

北栄町長あいさつ

○町長（手嶋 俊樹君） 皆さん、おはようございます。町長の手嶋です。どこかで会った方も多分あるかと思いますが、鳥取中央育英高校の皆さんから今回 13 の御質問を頂きました。北栄町がよりよくなるために地域探究の時間等で感じられたこと、学んだことを今回提案していただいたことだと思います。

近年、地元の高校生が東部や西部のほうに行ってしまうというようなことで、中部の高校が少し寂しくなっているというような状況もございます。鳥取中央育英高校も近年定員

割れが続いております。鳥取中央育英高校は北栄町にとって本当に大切な高校であります。将来地域を支える人材を育む大切な高校であります。北栄町としては、今、高校と校長先生やあるいは教頭先生、そして担任の先生等と、あるいは地元の方といろいろタッグを組んで、何とか鳥取中央育英高校を魅力化ということで業務を進めているところであります。令和5年度についても、具体的な取組を今進めていこうと思っているところでございます。

先ほど議長からもございましたが、本当に檜校長や担任の先生等にもお世話になって今日この場があると思います。今回のこういう場は、なかなか経験できる場ではないと思います。こういうのを、また皆さんこれからの糧にさせていただいて頑張っていたいただきたいと思います。本日は少し人数が減ったということもございますが、提案のほうをよろしく願います。そして、なるべくお手柔らかによろしくお願いいたしますと思います。

以上でございます。

- 事務局長（大庭 由美子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 檜佳憲校長に御挨拶をお願いします。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

- 校長（檜 佳憲君） 皆さん、おはようございます。鳥取中央育英高等学校校長、檜佳憲と申します。よろしく願いいたします。北栄町の皆様には日頃より本校の教育活動に対し御理解、御協力をいただいております。本当にありがとうございます。特に、本校の探究の時間の学習ではたくさんの住民の皆様にご指導いただき、北栄町の文化や様々な活動のすばらしさに気づかせていただき、地域を愛する気持ちを育み、さらにこの地域を発展させていける生徒の育成に努めております。また、本日は主権者として次世代を担う生徒たちに対して地元北栄町の町政、町議会へ参加させていただく機会を頂いたことは、本校が地域とともにある学校であることであり、生徒も北栄町の一員であるものと思っております。

生徒のみんな、一生懸命みんなの考えた気持ちを伝えていってください。

本会議の質疑を通して、また、お忙しい中議員の方々とは交流させていただく時間を通して、多くのことを学び、これからの社会への関わりを十分認識をし、本日が未来の社会、地域を支える一員としての一歩を歩み出してくれる機会となってくれるものと思っております。本当にこのような貴重なお時間を頂いたこと、改めてお礼を申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

- 事務局長（大庭 由美子君） 以上で、開会式を終わります。

-
- 事務局長（大庭 由美子君） それでは、これより高校生議会の本会議を始めます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

- 町議会議長（津川 俊仁君） 高校生議会の開会に当たり、議長として、松村康平議員を指名します。

午前 9 時 30 分開会

○議長（松村 康平君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校 2 年の松村康平です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしく申し上げます。

それでは会議を始めます。ただいまの出席議員は 14 人です。定足数に達していますので、これより令和 4 年度北栄町高校生議会を開会します。

なお、1 番、福井海心議員、2 番、淀瀬權議員、3 番、長田迅議員、4 番、池田有紀議員、小谷天音議員、12 番、瀬尾倅登議員、駒井柊哉議員から欠席届が提出されています。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（松村 康平君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1 番、村上航大議員、2 番、吉川海優議員を指名します。

日程第 2 会期の決定

○議長（松村 康平君） 日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日 1 日としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（松村 康平君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日と決定しました。

日程第 3 諸般の報告

○議長（松村 康平君） 日程第 3、諸般の報告をします。

本会議の出席者は、お手元に配布した資料のとおりです。

日程第 4 一般質問

○議長（松村 康平君） 日程第 4、一般質問を行います。

届出順により順次質問を許します。

1番、村上航大議員。

○議員（1番 村上 航大君） 1番、村上航大です。私は、地域文化「民話」の保護・継承について、教育長職務代理人にお聞きします。

鳥取県の神話学習から北栄町にも民話があることを知り、民話を通して地域の方言や風土、文化を学びました。私たちの探究班は民話の一つ「鼻かぎ」を、日本語、英語で紙芝居動画を作りました。班員と協力して動画を制作することで人と一緒に何かを作り上げる楽しさを感じ、また、民話に対して心理的に近づくことができました。

北栄町の文化的財産として、民話を地域住民や地域の子どもたちと一緒に保護・継承していく取り組みの推進を北栄町が支援できないか。その取組を通して、幅広い世代の多様な価値観を共有することになり、地域の活性化やよりよい地域の絆が生まれてくると考えます。北栄町内の学校で民話を通じた地域学習を推進し、子どもの情緒や地域を愛する心を涵養することができるのではないかと思います。

具体策としては、ほくほくプラザや図書館の読み聞かせ会、高齢者の集まり「いきいきサロン」で紙芝居動画の活用。北栄町文化財キャラクター「鹿子」の広報での紹介。北条歴民文庫本を活用して、挿絵や朗読、動画編集のボランティアを募集し紙芝居動画を制作、動画はDVDに保存し活用。北栄町劇団「ウォーターメロン」で民話を題材にしてみたいかでしょうか。

以上で、壇上での質問は終わります。

○議長（松村 康平君） 徳岡教育長職務代理人。

○教育長職務代理人（徳岡 幸裕君） 村上議員、福井議員の、地域文化「民話」の保護、継承についての御質問にお答えします。

北栄町に伝わる民話は、北条地区では北条歴民文庫の「北条町の昔話と歴史伝承」、大栄地区では大栄町誌に書かれています。しかし、なかなか地域の中で語り継がれていないのが現実です。そのような中で、お二人の議員の探究班で紙芝居を作り、動画制作され、それを活用したいとの御提案はとてもありがたい御提案だと思っています。

具体策にありました図書館での活用につきましては、全ての町民に対する音読教室の題材のほか、小中学校で行っている朝読書や総合の時間などでの活用のため学校への資料提供も可能です。また、図書館だけでなく、いきいきサロン等でも利用可能な生涯学習貸出し用DVDに登録し、希望される地域住民の方に貸出しすることもできます。もし出向いていただくことが可能であれば、ほくほくプラザや中央公民館の事業などで直接子どもたちや高齢者の皆さんに見ていただく機会をつくることもできると考えておりますので、ぜひ御検討いただければと思っております。

その他、町報での紹介なども併せ、前向きに取り組んでいきたいと考えています。その際には、地域の絆や活性化のためにも高校生の皆さんもその取組と一緒に関わっていただければと願っております。

○議長（松村 康平君） 村上議員。

○議員（1番 村上 航大君） 先ほど、高校生なども一緒に活動してみたいとおっしゃいましたが、それについて、各学校の美術部などに依頼し挿絵などの制作でコラボなどをし

てみてはいかがでしょう。

○議長（松村 康平君） 徳岡教育長職務代理者。

○教育長職務代理者（徳岡 幸裕君） とてもいい案だと思います。そういうこともコラボできるのであればどんどん提案していただいて、そういうところでも一緒に参加していただければと思っております。

○議員（1番 村上 航大君） 以上で終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、村上議員、福井議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 2番、吉川海優議員。

○議員（2番 吉川 海優君） 2番、吉川海優です。北栄歴史探訪ツアーを企画されてはについて、町長にお聞きします。

私たちは、仏像を見て回ったり座禅体験をするなど貴重な体験をしました。そういった体験を多くの人にしてもらいたいと考えます。北栄町では、北栄歴史文化探訪ガイドマップを作成しておられるが、そこに紹介してある貴重な仏像を拝観したり、史跡や北栄みらい伝承館を見学するなどのバスツアーやスタンプラリーを企画し、多くの人に北栄町の歴史に触れてもらう機会をつくってはどうか。

次に、石賀善章氏の作品を紹介してはについて、教育長職務代理者にお聞きします。

北栄町で活動しておられる石賀善章氏は、仏師のいない島根県で講演会や仏像づくり体験などを行ったり、倉吉市で作品の展示発表会を開催されるなど、数少ない仏師・彫刻家として活躍されています。私たちも、地域探究の学習の中で仏像について丁寧に説明していただきました。地元で活動しておられる芸術家の石賀氏の作品を発表する場を北栄町でも設けたり、コナンの像の作品を依頼するなどして、多くの町民の方に石賀氏を紹介してはどうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 吉川議員、淀瀬議員の北栄歴史探訪ツアーを企画されてはの御質問にお答えします。

町では、町民の方を対象に北栄町にある多くの文化財を知ってもらい、文化財の保存・活用につなげていくためのワークショップを開催しております。昨年11月には、ワークショップの参加者に町内の文化財を実際に見てもらうバスツアーを行いました。参加者の方からは、同じ町内でも知らなかった場所もありとても面白かったとの御意見を頂きました。町としても、実際に町内の文化財に触れてもらえる機会を提供していくことが重要であると実感しているところです。

今後、多くの方に北栄町の歴史に触れてもらう機会を提供するにあたっては、町職員だ

けでは限界があります。ガイドの養成が急務であり、現在のワークショップ参加者を含め、町内の歴史、文化財に興味をもつ方を増やし、紹介できる人材を増やしていく取組を進めていきたいと考えています。高校生の方にも、地域探究の時間などで北栄町の歴史に興味を持って調べていただき、一緒にガイドをしながら町内の文化財を周るようなツアーも検討したいと思っておりますので、その際には、ぜひ御協力いただけたらと考えております。

○議長（松村 康平君） 徳岡教育長職務代理者。

○教育長職務代理者（徳岡 幸裕君） 吉川議員、淀瀬議員の御質問にお答えします。仏師である石賀善章氏の作品を町内で紹介できないかについての御質問です。

石賀氏は、北栄町に工房を構え仏師として活動しておられます。北栄町美術展においては、直近5年の間に4回の出展していただいているほか、地域探究の講師としても活躍していただいているところです。

作品を町内で見ていただくことについて、町教育委員会としましては、良いことだと考えております。まずは、御本人であります石賀氏の意向が重要となりますので、石賀氏に展示についてお伺いしてみたいと考えております。展示の場といたしましては、公民館でのロビー展のほか、北栄みらい伝承館での展示が考えられます。公民館ロビー展であれば、来年度など、近いところで実現は可能ですが、みらい伝承館での展示となった場合には、歴史民俗資料館運営委員会で展示内容を検討しているため、すぐに実現するのは難しいところです。どちらにいたしましても、石賀氏の意向を確認した上で実現する方法を検討いたします。

○議員（2番 吉川 海優君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、吉川議員、淀瀬議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 2番、吉川議員。

○議員（2番 吉川 海優君） 引き続き、3番、長田迅議員の質問の代読をします。各種スポーツ環境の整備に力を入れてはどうかについて、町長、教育長職務代理者にお聞きします。

今回、地域探究の学習として、町内をはじめとした中部地区のスポーツ施設の見学や小学生を対象としたスポーツ教室を行いました。このような活動を通し、スポーツ施設の整備など各種スポーツ環境の整備が必要だと感じています。鳥取県中部は、東西部と比較し運動施設の中でも特に体育館の内装・外装の老朽化への対策や、備品、最新のトレーニング機器の買換えが必要な状況にあると感じています。施設の改装や最新設備の導入などにより、多くの方がスポーツに親しみやすい環境づくりが必要であると考えます。

また、指導者の確保・養成についても対策が必要であると考えます。中央育英高校の運

動部生徒による地域スポーツ少年団への定期的な指導の実施など、学校と町の連携事業を深めることにより、若手指導者養成にも貢献できるのではないかと考えます。

このような点に関して、北栄町としてスポーツ振興のために各種スポーツ環境の整備についてどのような考えをお持ちでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 長田議員の各種スポーツ環境の整備に力を入れてはどうかについての御質問にお答えします。

初めに、私はマニフェストの中に、生涯学習の場が充実したまちとして、誰もが気軽にスポーツを楽しめるよう取り組むことを掲げています。北栄町が将来にわたって持続可能なまちとして発展するためには、町民が健康でいきいきと暮らせることはとても大事なことでと考えています。

その中で、スポーツができる環境としまして、北栄町は社会体育施設が10施設、小中学校の体育館4施設の、合わせて14施設あり、町民はもとより町外の方からも多くの方に御利用いただいています。議員御指摘のとおり、運動施設、特に体育館の老朽化については課題と考えており、今ある施設をより長期間有効活用できるよう施設の耐震化工事を含め屋根や床の新調、水銀灯からLED照明への交換など、様々な修繕工事により長寿命化を図り利用に支障がないよう努めているところです。

また、令和3年度に、B&G海洋センターのトレーニングルームに体幹を鍛える運動機器や最新のトレーニング機器を導入いたしました。今後も利用者のニーズを把握しながら、効果のあるものの導入について北栄スポーツクラブと相談しながら検討していきたいと思えます。

次に、スポーツ振興のためには若手スポーツ指導者の養成が必要不可欠であるとの御意見ですが、議員御指摘のとおりであります。近年の運動・スポーツは、子どもから高齢者、日々楽しむものから競技性の高いものまで多様化が進んでおります。運動は健康寿命の延伸にもつながり、生涯スポーツの普及と活性化が健康増進の一助となります。

スポーツ指導者の養成等の支援策については、教育委員会に答弁させます

○議長（松村 康平君） 徳岡教育長職務代理者。

○教育長職務代理者（徳岡 幸裕君） スポーツ指導者の養成及び支援について、長田議員の御質問にお答えいたします。

現在、小学生が加入するスポーツ少年団をはじめ中学校の部活動において、外部指導者の力を借りる部活動の地域移行の動きもあり、本町においても新しく指導者になっていただく人材の発掘について、大きな課題だと認識しております。そのような中、育英高校の運動部の生徒さんが地域スポーツ少年団への定期的な指導をしてくださるという御提案は、願ってもない御提案です。地元の高校の先輩から学べる機会が提供できれば、スポー

ツ少年団に加入している児童の目標となり、スポーツに取り組む意欲向上につながるほか育英高校の魅力化にもつながると考えます。定期的な指導となりますと、高校の部活動への影響などの課題も出てくるかと思しますので、まずは、どのような運動部が指導の意欲があるかなど情報交換し、実現できるところから取り組めたらと思います。

次に、現在北栄町が行っている指導者養成についてです。

本町では、スポーツ少年団の育成について北栄スポーツクラブに委託していますが、北栄スポーツクラブにおいて指導者として認定を受けるための講座受講の支援を行っているほか、指導者には知識の向上やスキルアップを目的とした指導者研修会を開催しています。今年度は先月12月25日に、ジュニア運動教室と題して、北栄町出身の東京読売巨人軍トレーナーである岩垣光洋氏をお招きし、指導者や児童に対して、運動能力向上のために必要なリズム運動や体幹トレーニングなどを学んだところです。スポーツ指導者、児童ともに、正しい知識と技術を継続的に学んでいくことが今後も重要だと考えております。

これからも適切な指導者養成につながる支援について、町教育委員会としましても積極的に行っていきたいと考えております。

○議員（2番 吉川 海優君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、長田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 5番、林原優妃議員、木井あいら議員。

○議員（5番 林原 優妃君、木井 あいら君） 5番、木井あいらです。林原優妃です。

○議員（5番 林原 優妃君） 4番、池田議員、小谷議員の質問の代読をします。

私たちは、夜も安心して歩けるまちづくりについて、町長にお聞きします。

夜の北栄町内は、バス通りを一本外れると街灯も少なく薄暗い道が多いです。例えば、由良駅に行くまでの道や由良宿内、今回フィールドワークで訪ねた松神地区など、全般的に暗いと感じました。夜も、お年寄りだけでなく誰もが安心・安全に歩けるまちになってほしいと思います。

○議員（5番 木井 あいら君） 街灯を増やしていくのではなく、次のような足元を明るくする設備の設置はできないかについて、次の点を質問します。

1番として、フットライトもしくは高さ50～75センチ程度の灯籠のようなものを一定の距離で設置してはどうでしょうか。

2番として、観光と結び付けて、ブロンズ像周辺とその周辺道路を緩やかにライトアップして、夜も観光できるようにしてはどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 池田議員、小谷議員の、夜も安心して歩けるまちづくりについての御質問にお答えします。

まず初めに、足元を明るくする設備の設置についての御質問です。

現在、町の街路灯・防犯灯は、基本、自治会内のものは自治会が、自治会と自治会を結ぶ道路など自治会に属さないところについては町が設置をしております。御質問いただいたフットライトのような照明、私といたしましては、温泉街などで設置されている夜の散策のための柔らかい光の照明をイメージしました。このような照明では、現状に比べ街路灯の設置間隔を狭める必要があり器具も多く必要になってまいります。低い場所への設置のため、交通上の支障、自動車等の接触や破壊行為などへの対応も増えると予想されます。電気代、設置費、修繕費を考えると、対応は難しいと考えております。

次に、夜の観光につきましては、ふるさと館や米花商店街の噴水のライトアップなど期間限定で行っていますし、最近では、役場庁舎前のカラーオブジェ「小さくなった名探偵」「悪夢の始まり」のライトアップを始めたところです。今後も、ライトアップなど機会を捉えて実施していきながら、ニーズの把握を行い、御提案いただきました内容を含め夜の観光について検討を進めてまいります。

○議員（5番 林原 優妃君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、池田議員、小谷議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 5番、林原議員、木井議員。

○議員（5番 木井 あいら君、林原 優妃君） 5番、木井あいらです。林原優妃です。

○議員（5番 木井 あいら君） 私たちは、由良の波止を釣りパークとして整備してはという質問について、町長にお聞きします。

最近の釣りブームもあり、由良の波止で多くの釣り人を見かけます。周辺環境の整備をしたり釣り道具の販売やレンタルを行ったりして、釣りパークとして観光地の一つにしてはどうでしょうか。

○議員（5番 林原 優妃君） 国道からもよく見える場所であり、道の駅とも連携して釣った魚を調理できるなどの施設を造ったりすると、周辺の施設との相乗効果も期待されると考えていますがいかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 林原議員、木井議員の、由良の波止を釣りパークとして整備してはについての御質問にお答えいたします。

御提案いただいている、釣り道具の販売やレンタル、釣った魚を調理できる施設など

は、町ではなく民間事業者で運営していただくことになると思います。由良の波止の規模では、店舗や施設を運営できるほどのお客様の確保は難しいのではないかと考えておりますので、由良の波止を釣りパークとして観光地とすることは現在考えておりません。

○議長（松村 康平君） 木井議員。

○議員（5番 木井 あいら君） 町長は魚を釣った経験はありますか。あれば、どんな魚を釣りましたか。そして、その釣った魚をどのように調理されましたか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 個人的なことはあまりあれですけど、魚釣りをしたことはあります。そうですね、フナですかね。フナだったと思います。フナを釣った。でも、大分前の話で最近釣ったことがありませんので、多分中学校くらいだったと思います。ですので、調理はしたことがございません。

○議長（松村 康平君） 林原議員。

○議員（5番 林原 優妃君） 先ほど町長がフナを釣られたとお聞きしましたが、それを調理するための施設を造ってもらい、より北栄町の魚をPRできる場を増やしていくのはどうでしょうか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） そういう調理の場ということでございますが、先ほど壇上でも述べましたが、それを町でするのがいいのか、あるいは民間の方にやっていただくのがいいのかというのを整理する必要があると思います。御提案いただいた件についてはなかなか難しいかなとは思いますが、私が釣るとかそういうのは別にして、なかなか北栄町で漁業というのも今は難しいところがございますので、こういう意見があったということは考えてみたいと思います。

○議長（松村 康平君） 木井議員。

○議員（5番 木井 あいら君） 美しい海岸がある北栄町の魅力を、魚釣りを通してもっとアピールしてください。町長の気持ちを聞かせてください。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 魚釣りを通してというのはなかなか難しいところがあるかもしれませんが、後でまたほかの議員さんのところでもお話しするかもしれませんが、北栄町の海岸の良さについては、「白砂青松」と言いまして、松が青くて砂が白くてというようなところがあって多くの方が利用されているところもございます。そういうところもありまして、釣りということには限定せずに、いろいろな方面から北栄町の海岸を皆さんに知っていただきたいということには励んでいきたいと思っております。

○議員（5番 木井 あいら君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、林原議員、木井議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 6番、富山琴羽議員、澁谷花妃議員。

○議員（6番 富山 琴羽君、澁谷 花妃君） 6番、澁谷花妃です。富山琴羽です。

○議員（6番 澁谷 花妃君） 私たちは、北栄町限定のコナングッズを販売について、町長に伺います。

私たちは、地域探究で関係人口について学びました。その中で、北栄町に関心を持ってもらったり足を運んでもらったりする人を1人でも増やすことが大切だということを実感しました。関係人口を増やすことで、後の移住人口や定住人口を増やすことにつながる可能性があることが分かったからです。

そこで質問ですが、北栄町でフリーマーケットなどのイベントを行い、北栄町でしか手に入らない限定のコナングッズを販売してはどうでしょうか。

○議員（6番 富山 琴羽君） 今でもコナングッズはたくさん販売されていますが、北栄町限定のものがあまりないように感じます。コナンのキャラクターを使う時には著作権の許可を取ることも必要かと思いますが、コナンファンがもっと北栄町を訪れてくれるような工夫が必要だと感じました。

私たちが考えたコナングッズには以下のものがあります。例えば、北栄町限定のスイカやラッキョウなどとコナンがコラボしたデザインのスマホケース、ぬいぐるみ、キーホルダー、ハンカチ、パーカー、マスク、クッキーなどです。いかがでしょうか。

以上、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 富山議員、澁谷議員の、北栄町限定のコナングッズを販売してはについての御質問にお答えいたします。

北栄町内にはコナングッズを販売している店舗が3店舗あり、それぞれの店舗で販売されているグッズの多くは北栄町でしか買えないオリジナルのグッズであり、毎年、各店舗で新商品が発売されています。また、北栄町の大きな強みは、グッズに限らず青山剛昌ふるさと館や北栄町の様々な場面で使用されているコナンのキャラクターの絵が、アニメや映画の絵ではなく原作の絵を使用しているところです。原作の絵を使用できるのは、北栄町が青山剛昌先生のふるさとであるからであり、他で販売されているグッズやイベント等の大きな違いです。原作は作品の原点であり、ファンの方々はそこに大きな魅力を感じ北栄町を訪れていただいているところです。今後もこの大きな強みを大切に、「名探偵コナンに会えるまち」づくりを進めていきたいと考えています。

また、北栄町を訪れていただく工夫の1つとして、コロナ禍前までは、町内店舗で販売しているオリジナルグッズについては、インターネット販売は行っておらず北栄町を訪れなければ手に入らないものでした。現在、コロナ禍により観光客が激減したためインター

ネットによるグッズ販売を行っていますが、観光客が回復すればインターネット販売を終了し、北栄町に訪れていただき北栄町でしか買えないオリジナルグッズを手に入れていただくことになると考えています。

なお、御提案いただいたコナングッズにつきましてはグッズ販売店舗に伝え、今後の商品開発の参考としていただきます。

○議員（6番 澁谷 花妃君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、富山議員、澁谷議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 7番、中原しおり議員、多月萌々菜議員。

○議員（7番 中原 しおり君、多月 萌々菜君） 7番、多月萌々菜です。中原しおりです。

○議員（7番 多月 萌々菜君） 私たちは、農業のアルバイトができるアプリの開発について、町長にお聞きします。

私たちは、琴浦町のIターン就農者の方のお話を聞いたり、その方のところで農業体験をしたり、また実際に学校の中庭で野菜を栽培したりして農業について探究しました。全国的に、就農する若者は減っているという現状があります。私たちは探究活動を通じて、若者が農業を職業の一つの選択肢として考えるためには、高校生の時から何らかの形で農業と関わっておく必要があると感じました。

その一つとして、アルバイトとして高校生が農業と関わるということを提案します。全国的には農業アルバイトのマッチングアプリは現在もありますが、それを高校生専用にして北栄町で管理していただけると、農家も高校生も安心してつながれるのではないのでしょうか。

○議員（7番 中原 しおり君） 農家の方から、農業の仕事は忙しい時期とそうでもない時期があると聞きました。高校生も、部活動や勉強で忙しい時期とそうでもない時期があります。1日単位や時間単位で農業のアルバイトが紹介できるアプリが開発されうまくマッチングすれば、力があり余っている高校生たちの働きで農家の方たちは助かり、高校生たちは自分たちの力でお金を手にし、また、町でも農業後継者や若者就農者の一つの方策として、それぞれにメリットのある取組ではないかと考えますがいかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 中原議員、多月議員の、農業のアルバイトができるアプリの開発についての御質問にお答えします。

町独自のマッチングアプリについては、既にJAグループが開発した「1日農業バイト

デイワーク」というものもあり、農協も説明会等を行うなど普及しつつありますので、町で開発するということは考えていませんが、高校生の皆さんもこのアプリを活用していただければと思います。

北栄町の農家数は減少傾向であり、繁忙期にはハローワーク等を活用しながら労働力を確保しており、高校生の方も北栄町の農業を体験するいい機会になると思いますので、学校とも相談をしながら積極的に活用していただけたらと思います。

○議長（松村 康平君） 中原議員。

○議員（7番 中原 しおり君） もし、町長さんが高校生のときに農業アルバイトがあれば、したいと思われませんか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 私が高校生のときは家が農家でしたので、アルバイトではなくて実家の手伝いをしておりましたが、仮に、高校生ということであって農業に関係のないということでしたら、やってみたいなど。特にこの北栄町であれば、たくさんいろんな農業の種類がありますので、そういうところで経験してみたいなど思ったと思います。

○議員（7番 中原 しおり君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、中原議員、多月議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 8番、福羅和議員。

○議員（8番 福羅 和君） 8番、福羅和です。私は、小中高大学生と地域の交流の場としての休耕田活用について、町長、教育長職務代理人にお聞きします。

私たちは地域探究で、休耕田で米作りを行う三徳レンジャーの活動を知りました。三徳レンジャーは、六次産業化と三徳地区の地域活性化を目指して活動しています。お米の生産、加工、販売を学生が主体となってい、地域のイベントにも参加し、三徳地区にとっなくてはならない存在となっています。学生が地域の現状を知り、地域の人々と交流することで地域の活性化につながることを学習しました。

そこで、向ヶ丘レインボープランでの小中高の連携に加えて、地域の方や大学生との交流の場として休耕田を活用したいと考えました。米作りをきっかけに地域との交流を深め、北栄町にたくさんある特産品とお米を加工して道の駅で販売するなど、地域とつながる機会が増えると考えます。

しかし、私たちだけでは常時米作りの管理ができないので、町としてどんな支援や環境を整えることができるのか伺います。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 福羅議員の小中高大学生と地域の交流の場として休耕田の活用に町の支援は可能かについての御質問にお答えします。

米作りの管理に関する町の支援についてですが、米作りの管理について困ることがあるようであれば、農家や県の農業普及所との連携などのサポートができると考えております。

また、町でもいろいろな農作物のPRをしているので、そこの連携も可能ではと考えております。町としても、できる支援を行いますので御相談いただけたらと思います。

○議長（松村 康平君） 徳岡教育長職務代理者。

○教育長職務代理者（徳岡 幸裕君） 福羅議員の御質問にお答えいたします。小中高大学生と地域の交流の場としての休耕田活用に、町の支援は可能かについての御質問です。

現在、向ヶ丘レインボープランの活動の中で育英高校の皆さんには、水泳やボードクライミングなどのスポーツ関係や、中学生への面接指導などで、大栄小学校、大栄中学校の児童生徒と交流を行っていただいております。小学生や中学生も、人生経験の道のりの中で一歩先を歩かれている高校生の皆さんの姿や助言などは、大人である教員から受けるそれとは違うものとして感じてくれていることと思います。また、高校生の皆さんも自分の小中学生の頃を思い出しながら後輩世代と関わっていただくことは、皆さんの社会性や豊かな人間性を育むことにつながっていくのではと考えるところです。

さて、米作りでございしますが、今述べたとおり、向ヶ丘レインボープランの活動は児童や生徒同士の交流が中心でございします。私もこの質問をいただいてから、小中学生が高校生の米作りをどのようにサポートできるかを考えてみましたが、これといったことが思いつきませんでした。もちろん高校生の皆さんと一緒に小中学生が米作りの作業を行うことは可能なかもしれませんが、高校生の皆さんだけでは不足する技術や作業力への助けになるかどうかは難しいところです。

レインボープランの活動計画については、各学校に参加していただく会議の中で検討を行っており、その中で具体的な検討ができればと思いますので改めて御提案ください。

皆さんが米作りで困る点は、具体的にどのようなことが考えられますか。課題は具体化されているのでしょうか。もし、課題が見えていない、あるいは具体化されていないのであれば、まずは皆さんの力で米作りに向かい、その上で課題を整理されてはいかがでしょうか。外部の関係者へ協力をお願いされるのも、実状を踏まえた課題であれば説得力が加わると思います。皆さんの主体的な取組が周囲の関係者を動かすことにもつながると思いますので、皆さんの今後の取組に期待しています。

○議長（松村 康平君） 福羅議員。

○議員（8番 福羅 和君） 事前の打合せで、近年は集落営農を行っている方が多いと聞きました。その田んぼを少しお借りしてお米を作ったり、田んぼの一角でもち米を育てて

正月に餅つき大会を開催したり、作ったお米を北栄町内の飲食店とコラボするのはどうでしょうか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） いい御提案をいただきました。集落営農といいますのは多くの方の組織で構成されておりますので、そこに聞いてみる必要はあるかなと思います。それで今頂いた意見ですが、例えば、既にあつまらいや北条さんという団体があるんですけど、そこでは子どもたちや住民の方が一緒になってもち米を作ったりとか、そういうことをもう既にやっておられます。そういうところにもノウハウを聞きながら、そういう展開はできるかなと思います。

○議員（8番 福羅 和君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、福羅議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 9番、小野颯己議員、松原優吾議員。

○議員（9番 小野 颯己君、松原 優吾君） 9番、松原優吾です。小野颯己です。

○議員（9番 松原 優吾君） 僕たちは、大栄中学校と育英高校に和太鼓の整備をという事項について、教育長職務代理者にお聞きします。

昨年度、私たちの先輩が「大栄中学校に和太鼓の購入を」ということで質問をさせていただきました。現在、大栄中学校では大栄小学校の太鼓を借用し、有志で週に1回放課後に集まり黒ぼく太鼓を復活させようと練習しているそうです。

育英高も地域探究の取組で太鼓を使用するようになり5年がたちます。足りない太鼓を倉吉打吹太鼓振興会から借用している状況です。

○議員（9番 小野 颯己君） 小学校、中学校、高校と、大栄の地で育つ子どもたちに太鼓という共通の文化・芸術が根づくためには、まず、楽器の整備が不可欠だと思いますがいかがでしょうか。

中学校の吹奏楽部や高校の書道部がパフォーマンスをするのと同様に、地域の行事等で発表の機会をいただけるようになれば、太鼓の響きでまちの活性化に貢献できると考えます。このことについて伺います。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 徳岡教育長職務代理者。

○教育長職務代理者（徳岡 幸裕君） 小野議員、松原議員の御質問にお答えします。大栄中学校と育英高校に和太鼓の整備をについての御質問です。

現在、黒ぼく太鼓の活動は、中学生2人、小学生11人で大人の指導者のもと週1回練習に励んでいます。昨年度は中学校3年生の生徒がほとんどでしたので、引退、卒業後に

活動が存続していくか心配しておりましたが、今は小学生の参加者も多くうれしく思っているところです。

昨年度の高校生議会でも同様の御質問を頂き、育英高校に貸出しできる太鼓の購入について、当時の教育長が次のようにお答えいたしました。「育英高校で、黒ぼく太鼓を演奏していきたい、黒ぼく太鼓を継承していきたいという意向はありませんか。もし、高校の太鼓の演目に黒ぼく太鼓が加わり、さらに大栄小・中学校の子どもたちの指導者として活動していただける状況になれば、その段階で検討したいと考えます」といった内容でした。黒ぼく太鼓の関係者からは、現在使っているバチなどの一部を更新したい旨の話は伺っていますが、太鼓更新の御要望は聞いておりません。現在頑張っている小学生たちが中学生になっても活動を継続し、大人用の太鼓が必要になった場合などは太鼓の購入について検討したいと考えております。

このことから、高校生の皆さんにお貸しできる太鼓の整備は現時点では難しいのですが、クラウドファンディングを活用する方法や、育英高校での太鼓が伝統芸能と認められれば活用できる民間の助成制度もございますので、一度御相談いただければと思います。

次に、地域行事での発表の機会の提供についてです。

育英高校の太鼓でイベントを盛り上げていただけることは、とてもよい御提案だと思います。8月の北栄砂丘まつりや、10月の北栄わいわいフェスタのステージイベントには、黒ぼく太鼓が出演されています。もし、育英高校が出演となれば、黒ぼく太鼓と協演する場面にも期待が膨らむところです。出演については、イベントの主催者側の意向もありますので私の立場で出演をお約束することはできませんが、育英高校の皆さんが発表の場を求められているということについては関係者へお伝えしたいと思います。

地域探究で太鼓の良さを実感した皆さんのような若者と小・中学生が連携し、地域で発表できるような場面ができますと、地域の活性化にもつながると考えておりますので、これからも精力的に活動をしていただくことを願っております。

○議員（9番 小野 颯己君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、小野議員、松原議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 10番、松村大雅議員。

○議員（10番 松村 大雅君） 10番、松村大雅です。私は、田舎暮らし体験の修学旅行を積極的に誘致してはどうかについて、町長に質問します。

私たちは、自給自足の生活を行っているとっとり環境教育・学習アドバイザーの幸田さんから、環境に配慮しながら豊かな生活を送る方法を学びました。その中でも特に、鶏を絞める体験を通して、命を頂く大切さと「いただきます」の意味を再確認することができ

ました。御自身はまさにSDGsを体現され、環境にやさしく持続可能な生活を実践されています。

このような田舎暮らしは、都会暮らしの人からは特別で魅力的に感じられるのではないのでしょうか。何より、北栄町では人口減少に対応する持続可能なまちづくりが重要だとされています。そのためにも、移住・定住者や関係人口を増加させる対策が必要です。旅行者はその第一候補者だとも言われています。

そこで、都市部の小・中学校及び高等学校の児童生徒や国外の中高生を対象に、このような田舎暮らしを体験する修学旅行を積極的に誘致してはどうでしょうか。宿泊は空き家を利用した民泊、北栄町の新鮮でおいしい食材でおもてなしをし、農業体験をはじめ夏には蛍や星空を見る会など、都会ではできないことを思う存分体験してもらう内容とします。環境にやさしく持続可能な生活体験を通して、SDGsをより深く学べる「田舎暮らし」を商品として国内外に売り出すのはどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 松村議員の、田舎暮らし体験の修学旅行を積極的に誘致してはについての御質問にお答えいたします。

都市部の小・中学校及び高等学校の児童生徒や国外の中高生を対象に、田舎暮らしを体験する修学旅行を積極的に誘致してはとのことですが、北栄町には北栄町農家民泊推進協議会という団体があり、この団体が、農家民泊による修学旅行、教育旅行と言いますが、を受け入れる活動を倉吉市体験型教育旅行誘致協議会と協力して行っています。コロナ禍により、令和2年度以降修学旅行の受け入れはできませんでしたが、令和元年度には、関西から7校の受入れをしたところであります。体験内容としては、収穫体験などの農業体験や、町内散策、各家庭での夕食体験などです。北栄町で行っていただく田舎暮らし体験は、改めて整備された施設での特別な体験ではなく、北栄町の住民の方々の普段の生活体験がよいのではないかと考えていますので、引き続き北栄町農家民泊推進協議会の活動を支援していきたいと考えています。

北栄町農家民泊推進協議会では、一緒に農家民泊に取り組み北栄町の良さを発信していただける仲間を募集されています。宿泊体験だけ、農業体験だけといった方でも歓迎されますので、そういった方がありましたら事務局の観光交流課までお知らせいただければと思います。

○議長（松村 康平君） 松村議員。

○議員（10番 松村 大雅君） 先ほど、農家民泊推進協議会があるとおっしゃっていましたが、現在、農家民泊は何軒ほどあるのでしょうか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 正式な数字ではございませんが、20軒程度ということでございます。

ます。

○議長（松村 康平君） 松村議員。

○議員（10 番 松村 大雅君） 仮に、修学旅行などで 50 人程度の人が来た場合、現在の 20 軒で足りるのでしょうか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 分散したりしますし、それから、先ほど壇上でも述べましたが、倉吉市との連携ということもございますので、そういうところで対応させていただきたいと思います。

○議長（松村 康平君） 松村議員。

○議員（10 番 松村 大雅君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、松村議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 11 番、鍛冶木涼花議員。

○議員（11 番 鍛冶木 涼花君） 11 番、鍛冶木涼花です。私は、北栄町ホームページの観光ガイドに動画をつけてはについて、町長に質問します。

北栄町ホームページの観光ガイドから、おすすめ観光スポットを見ることができます。その中で、青山剛昌ふるさと館だけは独立したホームページにリンクして行けますが、お台場公園などその他の観光スポットは画像と説明のみです。そこに動画があると、閲覧された方はより詳しいイメージをつかみやすく興味を持たれると思います。動画の時間は、飽きにくい 30 秒程度がよいのではないのでしょうか。また、動画の作成は北栄町の中高生や地域住民へ募集をしたらどうでしょうか。北栄町ホームページへの親近感がさらに強まると思います。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 鍛冶木議員の北栄町ホームページの観光ガイドに動画をつけてはについての御質問にお答えします。

議員御指摘のとおり、町ホームページの観光ガイドは、各施設の概要と写真のみの掲載となっております。魅力が伝わりにくいと思いますので、御提案の観光スポットを紹介する動画の作成について取り組んでみたいと思います。動画の時間や施設ごとにするかなどについては、御提案の内容も参考としながら検討いたします。

また、動画の作成は北栄町の中高生や地域住民へ募集したらどうかとのことですが、令和 2 年度に実施しておりまして、「ほくえい PR 動画コンテスト」を実施しましたが応募

数が1件と非常に少ない結果でした。動画の募集についてはこうした結果も踏まえ検討する必要があると考えております。

○議長（松村 康平君） 鍛冶木議員。

○議員（11番 鍛冶木 涼花君） 動画をホームページに入れるに当たり、北栄町のホームページが見にくく思います。なので、動画や写真をホームページのホームの部分に入れてはどうでしょうか。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 御提案はいい提案だと思います。詳細については副町長に答弁させます。

○議長（松村 康平君） 岡本副町長。

○副町長（岡本 圭司君） ホームページのトップページに動画等を分かりやすく掲載してはどうかといった御質問かと思えます。ホームページのレイアウトの問題とか、どういふふうにするのが有効な、また、当然コストもかかってきます。そういったものをバランスを考えながら、ただ、大変トップページにそういった目を引くものを入れるという提案自体はとてもよいものだと思いますので、検討させていただきたいと思えます。以上です。

○議員（11番 鍛冶木 涼花君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、鍛冶木議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（松村 康平君） 11番、鍛冶木涼花議員。

○議員（11番 鍛冶木 涼花君） 11番、鍛冶木涼花です。引き続き、12番、瀬尾倅登議員、駒井柊哉議員の質問を代読します。

私たちは、ビーチクリーンを行ってはについて、町長にお聞きします。

私たちの班は、石脇海岸でサーフショップを営む横山さんに御自身の体験や鳥取の海の魅力を教えていただきました。横山さん御自身は、鳥取の海が一番美しいという思いでUターンされ、海でのレジャーを中心に鳥取県を盛り上げようとされていました。我々学生の思いを真摯に受け止め、サーフィンの指導をしていただくなど貴重な体験をさせてもらいました。

その一方で、北栄町では由良キャンプ場の廃止や北栄町海岸の遊泳禁止など、横山さんの思いや、現在レジャーを楽しむ人が増えているといったトレンドと逆行していると感じます。このままでは、海岸があるにもかかわらず誰もその魅力に気づかないのではないのでしょうか。

そこで私たちは、少しでも鳥取の海の活性化につながるように、ビーチクリーンを提案します。石脇海岸では、近隣の地域の方々、またサーファーなど有志でビーチクリーンを行っています。同様の活動を、北栄町でも小・中・高校で募集した学生ボランティアを中心に行い、海への関心を高めることができないのでしょうか。県外では、ホンダやトヨタな

どの企業もビーチクリーン活動に取り組んでいる事例があります。町から地元企業に呼びかけて、ごみの収集の協力や参加者への記念品など、少しでも若者の関心が引けるような取組ができないでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 瀬尾議員、駒井議員の、ビーチクリーンを行ってにはについての御質問にお答えします。

御指摘のとおり、北栄町の海岸は海水浴場としての整備ができていないことや、海底が急に深くなったり変化することがあるため遊泳できない場所としておりますが、北条オートキャンプ場、マリーナ大栄、砂浜からの釣りなど、様々な形でレジャーを楽しむ方がいらっしゃいます。海岸線に沿って広大な北条砂丘が広がり白砂青松が続く魅力的な場所であり、最近では、昨年11月にAKB48 チームKのプロモーションビデオ撮影が行われるなど、メディアにも取り上げられています。

また、マイクロプラスチックなどの海洋ごみ問題は、生物や人類にとって世界的な環境問題となっています。

以上から、指摘されています海への関心を高めるためにビーチクリーンを行うことはとても大切な取組だと思います。現在、海岸に接する16自治会が定期的に海岸清掃活動を行ったり、北条オートキャンプ場周辺を中心に地元企業・団体やボランティアの方々が清掃活動が行われている状況があり、これらの活動を町は支援しております。

このような状況に、今回、議員が地域探究の時間で学び、体験を通して提案されている自発的に取り組もうとする学生ボランティアやより多くの地元企業が参加するビーチクリーンを新たに加えてできるようになることは、とても素晴らしいことだと思います。

このような取組は、皆さんのような若者を中心に事業実施できたら大きな力を得ると思いますので、一緒に取り組みましょう。その際には、町としてバックアップしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○議員（11番 鍛冶木 涼花君） 以上で質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上で、瀬尾議員、駒井議員の一般質問を終わります。

○議長（松村 康平君） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これにて、令和4年度北栄町高校生議会を閉会します。

午前10時49分閉会

高校生議長あいさつ

○議長（松村 康平君） 皆さんの御協力のおかげで、レスリングで両足タックルを決めたとき以上に気持ち良く進行することができました。どうもありがとうございました。

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員